

## ICT を活用した学習場面

### B3 思考を深める学習, C1 発表や話し合い

算数科

3年1組 森 貴央

単元名 三角形 (1/9)

本時のねらい： 正三角形や二等辺三角形の特徴について、それぞれの三角形の辺の長さを比べたり、同じ長さの辺の数を数えたりしながら分類する活動を通して、理解することができるようにする。

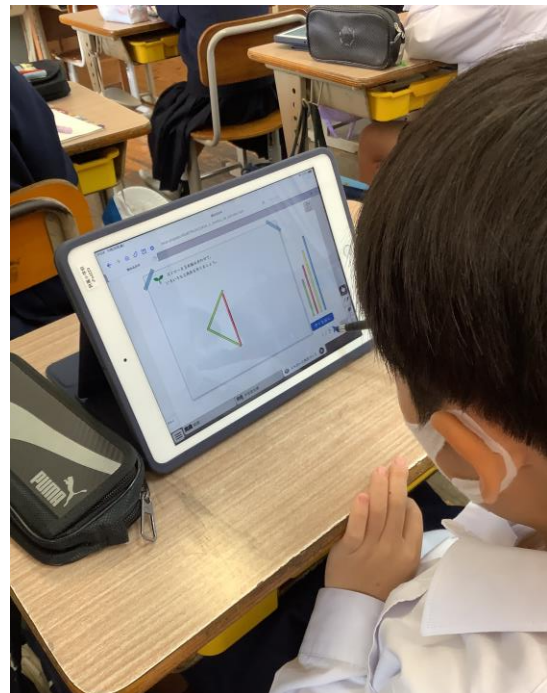
評価規準： 正三角形や二等辺三角形の特徴について理解している。

【知識・技能】

### 指導の流れ

#### 児童の活動 (ICT 活用の様子)・ICT 活用のねらいや留意点

1. 大型画面に様々な三角形があることを確認する。
2. デジタル教科書を使って、それぞれの三角形を分類する。



- ・デジタル教科書にある「操作する」を開き、それぞれの三角形を、タッチペンを使用しながら分類する。移動させたり、回転させたりしながら辺と辺の長さを比較することで、正三角形、二等辺三角形、一般三角形の特徴が見い出せるようにする。
- ・ペアでどのような分類をしたかタブレットを見せ合いながら理由を説明するようにする。

### ICT 活用の効果 (困りが解決されたか)

成果：様々な三角形について移動や回転を自由に操作することで、辺の長さや数に着目しながら三角形と二等辺三角形の特徴を捉えることができた。三角形の辺には青・赤・黄と三色に塗り分けられており、視覚的に見やすく辺の長さを比べる際に非常に分かりやすかった。ペアでの話し合いの際には、タブレットの持ち運びがスムーズにできるため、互いに見せ合いながら分類の理由を説明する姿が見られた。

課題：タッチペンを使用する際に、細かな操作に難しさを感じる児童が見られた。何度も操作をしながら慣れるために十分に時間を設ける配慮が必要である。また、具体物としての図形の捉えが画面上では困難なため、今後学習内容に合わせてタブレットを使うかどうかを検討していく必要がある。